

公開・国際シンポジウム「死生と造形文化Ⅱ」

二〇〇八年五月三十一日（土）十三時十五分

会場：東京大学本郷キャンパス 法文二号館 一番大教室  
一般公開・入場無料

同時通訳付（先着順：同時通訳機は台数に限りがあります）  
With simultaneous interpretation (on a first-come-first-served basis)

# 礼拝像と奇跡 東西比較の試み

## 第一部 講演

十三時十五分から

趣旨説明 秋山 聰（本グローバルCOE事業推進担当者）「礼拝像と奇跡」

講演一 長岡 龍作（東北大学）「仏教における「靈験」―仏が感応する場と表象」

講演二 アイヴァン・ギヤスケル（ハーヴァード大学美術館）「複製技術時代以降のキリスト教の奇跡像を求めて」

十五時から

講演三 加須屋 誠（奈良女子大学）「予告された往生の絵―清凉寺所蔵「迎接曼荼羅」をめぐって」

講演四 ゲアハルト・ヴォルフ（在フレンツェドイッ美術史研究所）「奇跡を生む礼拝像と芸術」

## 第二部 コメントと討議

十六時十五分から

コメント一 大稔 哲也（本グローバルCOE事業推進担当者）

コメント二 奥 健夫（文化庁）

ディスカッション

主催／東京大学大学院人文社会系研究科グローバルCOE「死生学の展開と組織化」

<http://www.lu-tokyo.ac.jp/shiseigaku/> ph. & fax. 03-5841-3736

共催／東京大学大学院人文社会系研究科美術史学研究室 後援／美術史学会

Organized by the Global COE Program: Development and Systematization of Death and Life Studies  
With support from The Japan Art History Society and the Department of Art History, Graduate School of Humanities and Sociology, The University of Tokyo

